



堀場製作所OB会

会報

通巻24号

発行日 平成20年7月18日

発行者 堀場製作所OB会

川越 幹

編集者 山本広太郎

◆クラブ活動

- ・写真・ビデオクラブ
- ・山遊会
- ・グランドゴルフクラブ

◆堀場OBベンチャー&ボランティア部会

- ・発足会開催
- ・活動報告
 - ▶運営委員会開催
 - ▶鴨川を美しくする会主催「鴨川清掃」に参加
 - ▶宮の森公園、堀場製作所周辺清掃ボランティア実施

◆NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会

- ・連合会活動に参加
 - ▶関西セキスイ工業見学会に参加
 - ▶男の料理教室に参加

◆会員の寄稿文

- ・我が社の社長・・・・梶並 強平
- ・趣味のカメラ雑感・・・・西尾 勝治
- ・わが街・高齢化、そしてボランティア

・・・周田 光男

◆OB会連絡

- ・行事報告
 - ▶日帰り旅行
 - ▶堀場製作所55周年記念式典に参加
 - ▶レジャー例会、写真クラブ合同例会
- ・行事案内
 - ▶堀場OB会「夏季懇親会」のご案内
- ・会員情報
 - ▶新入会員紹介
 - ▶新入会員懇談会
- ・連絡事項
 - ▶年次総会のあり方についてのご意見・ご提案を募集
 - ▶行事等のご案内等に対する100%回答ご協力をお願い
 - ▶堀場製作所OB会ホームページについて

◆ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

◆編集後記

祇園祭について

今月は、祇園祭の月です。7月1日の「吉符入り」で開幕、10日から鉦建て、15日の宵々山、16日の宵山を経て、17日が山鉦の巡行です。夕方、八坂神社のみこしが四条寺町の御旅所に向かう神幸祭があり、28日には神輿洗いが行われる1ヶ月間の祭りです。写真は、町の子供たちが考えた夢の鉦建てです。



写真・ビデオクラブ

—第1回例会—

平成20年4月5日（土）10：00から、まさに春爛漫の嵐山一帯への撮影行きを実施しました。さすが天下の名勝だけに、物凄い観光客で、（最近では中国人の多いこと多いこと）京都近辺に住んでいる者がこんな日に例会を行うのは、アホちゃうかと言われても仕方がない日でしたが、一般とは逆周りで、まず宝厳院の庭を拝観後、亀山公園から対岸の桜の撮影や百人一首の句碑を巡り、嵯峨野へ向かって、小倉池、常寂光寺、二尊院、化野念仏寺と撮影歩きをしました。撮影巡りは不思議と混雑等は、視野外でした。

帰路は、少し疲れたので鳥居本から新丸太町通りまでタクシーを使い、途中天竜寺で見事な桜の撮影を最後としました。締めは、阪急嵐山駅近くの、ギャラリー喫茶の「アートスペース」にてコーヒーで疲れを癒し、嵐山写真集団の写真展を見学、そしてお開きとしました。

参加者一同、充分堪能して家路に着きました。次回は、伏見辺りの風情を撮りたいとの要望もありますので、ご期待下さい。尚、写真クラブといっても、カメラはどんなものでもよく、またカメラ無しで気軽にウォーキングの気分でもご参加してください。

（川越 幹）



—第4回例会—

・実施日：平成19年11月9日（金）

・行先：京都一周トレイル・北山西部コース 二ノ瀬～西賀茂

・参加者：下川 和子・森本順孝・下川 博司・倉原政治・高橋義治

叡電出町柳駅に午前8時に集合し、二ノ瀬駅に8時34分到着。快晴・無風、小春日和のなか色付き始めた紅葉の出迎えを受けて、8時45分登山開始。夜泣き峠までの急坂を登ること20分、軽く汗ばんできたところで小休止。今回は今年9月にサブコースとして開設されたばかりの、向山から山幸橋へのコースに行く。向山まではゆるい登りで、落ち葉を踏みしめながら里山の雑木林を進む。

9時30分頃向山（420m）に到着。1回目の記念写真を携帯電話で撮る。ここからは南西に伸びる稜線を降る。10時20分山幸橋のバス道に出た。再び山道に入り、盗人谷から小峠の登りを経てようやく氷室に到着した。明るい田園風景が広がる処であるが、田畑にはすべて鹿除けの黄色のネットが張り巡らされていて台無しです。11時30分氷室神社前で少し早い昼食休憩をとる。

トレイルコースはここから京見峠を経て沢池へと続きますが、これ以降は次回に残し道を左にとり舟形山へ向かう。13時10分舟形山（317m）を通り五山送り火船形の火床に着く。ここで2回目の記念撮

影。京都市街の北の端から南の端までの眺望を十分に堪能して、西賀茂車庫まで下山。14時15分停まっていたバスに走りこみ、流れ解散とした。



—第5回例会—

・実施日：平成20年4月11日（金）

・行先：京都一周トレイル・西山コース
清滝～苔寺

・参加者：下川 和子・森本 順孝・下川 博司・
倉原 政治

清滝バス停9時50分集合、前日の雨も夜半に上がり、薄曇ながら時折春の陽がさすまざるの天気となるなか行動開始。清滝川の右岸沿いの道を落合まで下る。前日の雨に濡れた岩に足を滑らさないよう注意しながら10時20分落合に到着。トンネルを抜けて保津峡展望所へ。しばし保津峡の景色を楽しむ。落合まで戻って、六丁峠までの舗装道の急坂を、山桜とミツバツツジの花を愛でながら登り、西山ドライブウエーをくぐって鳥居本へ下る。ここから亀山公園までは、嵯峨野めぐりのメインストリートに行く。ウィークデイのためもあり観光客は多くない。化野念仏寺、二尊院、常寂光寺、大河内山荘などの前を通って亀山公園の展望台に11時50分に到着。記念撮影をして渡月橋を渡り昼食休憩とする。13時30分松尾山登山口

へ。竹林沿いの道を登る。いつもながら昼食後の登りはきつい。岩田山のモンキーパークを右手下に見ながら松尾山山頂（276m）に14時20分到着。市街北部の景観を眺め、2回目の記念撮影をした後、古墳が点在する路を苔寺へ向けて進む。15時



5分苔寺谷登山口へ、本日の行程約11km。折りよく京都駅行きのバスが止まっていたので、それに乗り込み流れ解散とする。

グランドゴルフクラブ

—第 5 回 例 会—

- ・実施日 平成20年3月22日(土)
- ・場所 榊堀場製作所裏の“宮の森公園”
- ・参加者 7名

天候に恵まれた、春うららの3月22日(土)午後12.30より宮の森公園にて、第5回堀場OB会グランド・ゴルフを行った。初めてプレーをされる方もおられましたが、いきなりホールインをされるなど、皆さん大いに楽しまれ、これでは病み付きになりそうと言う事で、年間スケジュールを決めてほしいとの強い要望もあり、取り敢えず、年末までのスケジュールを決めた。

このスポーツは、文部科学省の生涯スポーツ推進事業の一環としての開発研究により、誕生したもので、現在では、全国で、150万人もの愛好者

に親しまれているスポーツである。これは、グランドゴルフの専用の道具を用いて、ゴルフと同様に、ホールインまでの打数を競うものである。専用の道具はすべてOB会で揃えていますので、皆さんは簡単にグランドゴルフに参加プレーが出来るようになっている。

開催日には、ボランティア活動の一環として、地域社会への貢献と言う事で、グランドゴルフをする前に、会社周辺や、グランドゴルフをする宮の森公園の清掃をしてから、グランドゴルフをする事になっている。

◆今後の予定(いずれも日曜日)

- ・第7回：6月29日
- ・第8回：7月27日
- ・第9回：8月31日
- ・第10回：9月28日
- ・第11回：10月26日
- ・第12回：11月30日

堀場OBベンチャー&ボランティア部会

発 足 会 開 催

去る2月26日(木)夕刻より登録者13名の出席により「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」発足会を開催しました。

「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」は従来の「堀場ベンチャークラブ」を諸般の事情により解散し、第12期より新たな部会として再結成、昨年末に実施した「登録お願いアンケート」で15名の会員の皆様に登録いただきました。

「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」は名の通り、従来のOBのスキル提供事業とボランティア活動などの幅広い活動を企画・推進していく事を目標にしております。活動計画、活動状況は逐次、ホームページに掲載していきます。

部会登録受付は随時行っておりますので、志しある方は是非、登録いただくようお願い致します。なお、対外的には従来通り「堀場OBベン



チャークラブ」の呼称で活動を行います。

・参加者(敬称略)

池田俊明、大志万繼影、川越 幹、岸本俊彦、
國房俊彦、小谷昌男、酒井俊英、澤田喜行、
周田光男、萩原孝一、宮崎育雄、
水野富美雄、山本広太郎

活動報告

—運営委員会開催—

4月28日(金)、堀場OB会室にて第1回目の運営委員会を開催した。この委員会は登録者メンバーにて構成され、隔月に取組課題および運営方法等に

ついて検討のため開催する事になり、今回は今年度の活動テーマについて提起、以下のテーマについて推進する事になりました。

- ・堀場製作所対外活動「酸性雨の出来る仕組みを学ぶ」の支援を検討
- ・地域社会への貢献（会社周辺、宮の森公園の清掃）・・・グランドゴルフ開催時に実施
- ・ボランティア活動への参加

鴨川清掃活動（鴨川を美しくする会主催）

環境ボランティア：エコメイト（京エコロジーセンター）に登録

—鴨川を美しくする会主催「鴨川清掃」に参加—

4月29日（祝）、鴨川を美しくする会主催の「鴨川清掃」にKSVUが団体参加、堀場OBも加盟クラブの一員として部会メンバー5名が参加、初夏を思わず気温の中で心地よい汗を流しました。

「鴨川を美しくする会」は地域住民によって、鴨川を美しくするために、住民が力を合わせ、行政機関と相互に協調をはかり、河川美化と環境保全の輪の広がりを目指すために昭和39年に結成されたボランティア団体です。

「鴨川を美しくする会」は鴨川クリーンハイクを始め、鴨川納涼、鴨川環境学習など種々の活動を行い活動は全国的にも注目され多くの表彰歴があります。今回参加した鴨川清掃は年間4～6回開催されています。

当日は好天に恵まれ、五条大橋を起点に丸太町橋までの鴨川両岸の散策路約2.5kmで行われました。

予想に反してごみは思いのほか少なく期待はずれ？目に付いたごみはタバコの吸殻が大半を占め、飲料缶も意外と少なくこの場所を利用する市

民のマナーが良くなって来たのかなーという印象を受けました。

次回以降もOB会として参加します。多くの会員が参加いただくようお願いします。

- ・参加者（敬称略）

大志万、川越、小谷（昌）、萩原、山本



◆次回以降の予定

・10月19日(日)（合同） ・11月16日(日)（定例）

—宮の森公園、堀場製作所周辺清掃ボランティア実施—

グランドゴルフクラブでは、ボランティア活動の一環として、地域社会への貢献を目的に、グランドゴルフ開催日の競技前に堀場製作所周辺ならびに宮の森公園の清掃をしています。

グランドゴルフ会員以外の方も、飛び込み参加大歓迎!!

健康増進と社会奉仕を兼ねて活動に多くのOB会員の参加をお願いします。

連合会活動に参加

—関西セキスイ工業見学会—

6月16日（月）午後第4回K S V U加盟クラブの出身企業見学会が、奈良県郡山市関西セキスイ工業（株）のセキスイハイム工場で実施されました。

40名以上（堀場OB会員5名）が現地に集合し、会社からの説明あと工場見学になりました。家づくりの工場ラインで、殆どオーダーメイドで住宅の80パーセント以上が工場生産になっています。依頼者が家の内部を見学できるコースを、私たちが説明を受けながら歩きました。各機能を持った鉄骨構造ユニットを複数個つなぎ合わせて住宅に完成させる生産ラインです。鉄骨ユニットはすべて溶接され強度や精度も高く、約30万点の部材を管理使用して、電気系・キッチン・バス・トイレ・二階への階段などのユニットで住宅が完成していくラインは、身近なためや、今までの精密機器の生産ラインと異なり非常に興味があり、ユニットの落下試験や震度7の体験もあり

ました。また環境を考えゴミを出さない家づくりのスローガンで、工場や新築現場での分別収集で廃棄物をリサイクルして、ゴミゼロを実現しているそうです。耐震などのユニット住宅に興味のある方は一度見学コースをお勧めします。

質疑応答のあと工場担当者にお礼を述べ現地解散しました、蒸し暑い梅雨晴れの間、有意義な工場見学会でした。

（萩原 孝一）



—男の料理教室—

NPO法人OXクラスター主催「男の料理」教室にK S V U会員として初めて参加しました。

前回の交流会にも参加しましたので、お顔なじみの方が多く、和やかな雰囲気でした。

4種類の料理の内「パリパリ餃子」に挑戦しました。今までは家庭で何回作っても満足するものが出来ませんでした。今回は「極意」を伝授、見事な出来上がり（？）に私自身おどろきました。

そしてテーブル仲間にも褒めていただき大満足

でした。週末には「パリパリ餃子」を作ります、きっと家族は驚くでしょう。

「男の料理」を通して会員の皆様方と親しく会話ができて、有意義な時間を過ごしました。

特に積極的な方が多く、いきいきと活動されている様子が伝わってきます。

今後の活動に生かせればと思っています。

（周田 光男）



会員の寄稿文

我が社の社長

梶並強平

我が社の社長は、女性社長である。

創立（1976年）以来、4代目にして初めての女性社長である。家庭でも、女性中心の方が円満にうまく纏まり、家庭が安定して栄えると言われている。会社でも、女性社長のほうがギクシャクしないでなんとなく円満で纏まりが良くなる。又、女性社長ともなると、男性に比べて我々が日頃気付かない細かい所にも色々よく気付き、社内も整理整頓されて綺麗に片付き、社員の服装にも営業マンに相応しい清潔感や爽やかさに合ったスタイルとして、今までの作業服から背広スーツに変わる等、改革が進んでいる。そして我が社の社長は、なんとなく人を引き付ける不思議な魅力を持っており、社長の周りには何時もオーラが漂っている様な雰囲気、会社の中は社長中心に、あたかも太陽の周りを衛星が周るように、社員全員が気持ちよくグルグルと周っている。

一般的に、何時もバイタリティに満ちあふれ、バリバリと仕事をしている熟年の女性、自分の能力を最大限に発揮しながら表舞台で大活躍している女性は華やかで素敵である。

又、生き方の美しい女性と言うものは、考え方が何時も前向きで話題が豊富で面白く、そこらあたりの人をいつの間にか引き付けてしまう魅力を持ち合わせている。

最近では、社長に引き付けられるように社員のみなならず社外のお客さままでが、我が社の社長を中心にグルグル周って来るようになり、今まで注文が取れなかったお客様からもドンドン注文が入って来る様にもなって来た。

最近、女性の起業や社会進出が多く、立派な会

社を経営される方が多くなる等、活躍される女性の方が大変多くなってきているが、日本でも、女性の高学歴や女性が働く事に関する社会全体の意識の変化に伴い、社会進出が進んで来たというもの、ある報告書によると、日本は平均寿命、教育普及、所得水準などをトータル的に算出した女性の企業TOP管理職等の指数では、世界7位と云うことだが、実際には日本の女性の進出度の割合は、75ヶ国中 第42位と先進諸国では最低だそうです。ちなみに女性の企業TOP管理職等の会社進出の



No. 1は東欧のノールウェイに続いて2位がスウェーデン、フィンランド、デンマーク、ベルギーといった順位である。

今後も女性の社会進出が益々進んで来ると思われるが、穏やかで過ごしやすい世の中に変わる事を望んでいる。

昨年、我が社の社長にも堀場製作所OB会に入会して頂いたので、OB会での活躍を大いに期待しているところです。

趣味のカメラ雑感

西尾勝治

現在住んでいる向日市（人口約5万5千人）で向日フォトクラブを立ち上げたのが平成5年の春でした。作品の展示を市内の銀行・郵便局等に出しています、会員の増減もあります。ここ数年12～13人で推移しています。例会は月2回で1回は選んだ

処に撮りに行き、1回は作品を持って公民館に集まり指導者の下、半日を楽しみ過ごしています。始めた頃は撮りに行くとなるとカメラを2台・レンズは標準・望遠・マクロ・広角等それに三脚を持って出るものですから結構重たくて大変でした。そ

れが災いしたのかよ寄る歳波には勝てずか解りませんが、両膝の関節が悪くなり、特に階段の上りがこたえるようになりました。現在は車で行く時は別として殆どズームレンズ18~200mmを付けたカメラ1台を持って出かけ、それもデジカメです。10数年前にはデジカメで撮ることは想像もしていませんでした。フォトコンテストに応募する場合でもデジカメは不可としたのが多かった様です。数年前に自分で比較するのに使ってみるとフィルムカメラには無い便利な点も幾つかあり、その一つがISO感度をすぐ変更できること、先に言ったとおり手持ちで撮ることが多くなったので、手ぶれを少なくする為に（レンズに手振れ防止がついている）シャッタースピードを早くしたい、ところが被写体が暗いので此の儘だと露出不足になる。

こういった時簡単にISO感度を上げる事ができる。又35mmのフィルム1本は普通36枚撮りです。一つの被写体を撮る時原則として標準と+補正と-補正の計三枚を撮る様にしています。すると1本で12枚撮れば新しいのと交換する必要があります。それがデジカメですと（メモリーカードの容量とカメラで設定する画質モードにもより

ますが、相当な枚数を撮ることができます。予備にメモリーカードを持つても大きさは5cm角程度厚さも4mm位ですからフィルムの様に嵩張りません。又持ち帰ってTV・PCにつなげばすぐ大きく見ることが出来て整理・保存も簡単にやれます。それにプリンターを用意すれば、カメラ店に現像・焼付けを頼む必要が無くなります。又最近では画像調整

が簡単に出来るソフトが出てきています。我が家でも遊び感覚でやるのですが、例えばくすんだ空を鮮やかなブルーに変える・露出アンダーの写真を明るく調整する・色かぶりを除去してナチュラルな色調に整える等々デジタル写真の本当の楽しみは撮影後にやって来るようです。やり出すと夢中になり時間の経つのが早い事、特に雨降りで暇な時は良い遊びとなりますが一体写真とは何ですか？と自問自答している昨今です。写真を始めてから交際の範囲が広がって良かったとつくづく感じています。当地に来た時は向こう三軒両隣の苗字とお顔しかわかりませんでしたが、最近では用事・散歩等で町に出て行くとよく友達や知人に会いお互いの健康と情報の交換の交換をしております。



す。これも写真を撮っている所為かなと喜んでいきます。添付の写真は4月15日162号線（周山街道）を高尾から北に行き周山で左折して約2kmの土手から撮ったものです。実は10日前の4月5日に都合のついたOB会の4人で嵐山周辺の桜を撮りにいったのですが、上手く撮れたのが無かったので再度撮影にいったものです。

わが街・高齢化、そしてボランティア

周田光男

わが街は50戸の小さい町内でありながら、その区域内には小学校や高等学校・公園、神社そして宮内庁の敷地に隣接しているので樹木が比較的多く、そのためか公道があまり汚れやすすくない状況

にあるといえる。

町内会では月に一回「愛町日」として一斉に清掃ボランティアを行っている。当初は「月に一回では、やっても無駄だ」とか「翌日はもう枯葉が

落ちて意味がない」などと反発もあったが「月に一回は美しさの原点に戻る」と言い続けながら30年が経過して現在も継続中である。

枯葉が落ちて苦言を言うより、緑豊かな樹木に感謝しなければならないことを、私たちは忘れてはならない。わが街は、この精神を維持し続けていることになる。言い換えれば、むしろ「贅沢」な環境にあるのかもしれない。そして、以前は私たちの行動を横目で見ていた高校生も、独自に清掃日を決めて行動するようになり、心強い限りといえる。

いま、子供たちの登下校の安全を見守る「見守り隊」が市内各地で行われている。

わが町内会からも5名のお年寄りがボランティアとして参加しており、子供たちとの「ふれあい」に貢献している。たまに1日休むことがあると「おっちゃん風邪ひいたの？」と聞いてくれる、あるボランティアさんが嬉しそうに話っていた。これぞ年寄りの出番なのだ。しかしながら、町内会も高齢化が進み、次の世代へのバトンタッチが課題となってきているのが実情ではある。

堀場OB会でも「バンチャー&ボランティア」が新しく立ち上がり、その行動が試めされている。OB会の行動が企業にとってイメージアップに繋がるチャンスでもあることは間違いない。そして、これらは私たちOBの責任であると云っても過言ではない。

在職中に築かれた各自の技能や知識を、幅広く世の中に役立たせる絶好のチャンスだと私は思

う。

いま、日本は生活水準の向上によって世界有数の長寿国となり、ますます高齢化が進んでいる。この、高齢化とともに認知症や介護が必要になってしまう人が増え続けているのも事実である。このほかにも、転倒による骨折のケースが数多くみられる。これらは、歩行能力、バランス能力、および、足腰を中心とする筋力の低下が原因にあげられる。

私は京都市が薦める高齢者対象の「マシンを使ういきいき筋トレ」に通いながら、京都市健康増進センターで「いきいき筋トレボランティア」の講習を修了し、その成果を、学区の「すこやか教室」など、2教室で高齢者の「筋トレや脳トレ」を広めている。これらの行為は自分のためでもあるので進んで行動しているが、教科書だけでは飽きてくるため、ソーシャルダンス・パントマイム・スイミングなど、私の趣味や特技?を生かし、筋トレ、脳トレ用にアレンジして「笑が多い教室」になるよう常に考えている。

最近「ボランティアとは何だろうか?」と深く考える時がある。

「ただ働き?」「無報酬」・・・結論はボランティアも相応の出費が必要だと思うようになったことである。

皆さんはボランティア活動をどのように考えておられるのだろうか。

「今日が一番若いんやから・・・」京都新聞より

OB会連絡

行事報告

一日帰り旅行

平成20年2月24日（日）折からの全国的な爆弾低気圧のため、生憎雪の日となり、京都駅への交通機関のダイヤも乱れ、今回の参加者一行22人の定刻集合が危ぶまれましたが、さすがは各自の努力で遅刻は回避され、バスは予定どおり出発することができました。

今回の観光バス（弥栄）は、添乗員（JTB）の他、バスガイドも乗車し、道中の案内と各地の歴

史の裏側等興味深い話も織り交ぜ、車内を飽きさせることもなく、大いに楽しみ、寛ぐことができました。

今回は道中、豊岡市にある「兵庫県立コウノトリの郷公園」を訪ねました。同施設は、昭和46年、ついに日本の天然コウノトリの最後の一羽が豊岡で絶滅したため、ハバロフスク地方からの幼鳥を受贈、毎年繁殖に成功、平成11年には本格的



でした。なお当日、日本海は大しけで2~3mの大波が防波堤を超えていたのも迫力満点でした。

帰路は、カニを主とした海産物店を2軒ばかりめぐり、土産は買わないといていた人の財布の紐も緩んでいた様で、バスの土手っ腹は結構お土産で膨れていました。多少の停滞はありましたが、帰着予定時刻を約45分遅れのみで無事京都駅に着きました。

今回の旅行は、良いガイドさんにも恵まれ、また昨年新規入会された方の参加もあり、全体を通じて各自大変楽しまれ、満足さ

に公園として開園したもので、コウノトリの野生復帰を事業とし、平成17年からは念願の放鳥を開始しています。折からの雪と寒さでゆっくり観察することが出来ませんでした。皆それぞれ感慨を深くし同公園を後にしました。

目的地の奥城崎シーサイドサイドホテルは、竹野町の猫崎半島に有り、城崎というものの全くの別地で、文字どおり竹野浜海水浴場の近くとなっていました。ホテルへの到着が1時過ぎになったため、直ちに期待の「カニづくし」の昼食につき、カニつつきで、全員もの静かな雰囲気です事に専念しました。食後温泉への入浴となりましたが、日帰り旅行の悲しさで、全員がゆっくりとまでは行かないのが残念



れたのではないかと考えています。残念ながら今回不参加の方も次回は「一泊旅行」を計画していますので、是非多数の参加を期待しています。

(川越 幹)

・参加者 (敬称略)

浅島芳雄、梶並強平、神吉治、西田敏彦、萩原孝一、林收、東 信好、大志万繼影、小谷昌男、周田光男、森本順孝、川越 幹、矢野久雄、山本広太郎、横川修二、下川博司、近田伯久、田中光子、吉井忠彦、倉原政治、澤田喜行、永田真寿夫

(計22名)



一堀場製作所 55周年記念式典に参加一

2008年1月26日(土)国立京都国際会館で、日本中のホリバリアン2000人余りが参加して午前10時から午後5時まで盛大に行われ、OB会幹事6名も招待を受け参加しました。

50周年のときと同様メインホールで行われ、社歌のソプラノ独唱(ホリバリアン)で始まり、堀場会長兼社長の記念講話のあと、京都市2008年着物女王3名の手伝いで華やかに堀場特別賞やその他の賞の授与が行われました。続いて堀場最高顧問の記念講話で創立当時からの話と、また『自今生涯』の話もされました。



午前の式典のあとはイベントホールに移動し、全員でホリバ・バースデー・パーティーの昼食会が行われました。長岡京室内アンサンブルの皆さんによる弦楽4重奏(モーツァルトのディベルティメント)の生演奏がパーティーの雰囲気を一掃盛り上げていました。

また、特大のバースデーケーキに特大のナイフが入刀され、パーティーがスタートしました。乾杯のあと各グループ会社、先輩、新人そしてOB会等お互いが語り合いながらの立食パーティーでした。

パーティー終了後、再びメインホールに集合して『その時HORIBAに何があったか』 テーマ1「世界NO1への挑戦」 テーマ2「製作所魂の伝承」 テーマ3「未踏の開拓」 テーマ4「ワンカンパ

ニーへの道」の4テーマで三世代の代表による討議や体験発表があり、テーマ2では、OB会山本広太郎副代表幹事が第一世代のトークに参加し、初期の生産現場やコンベアー生産など自力で考えた手作りの生産方式を編み出し、当時としては先端を



行く生産体制として語られました。

その他世界NO1のMEXAの誕生の話、大気・水質測定のカエートプロジェクトなど熱い報告がなされました。また現在南極に派遣され「地球環境システムの研究」を担当しているホリバの青山朋樹君の現地映像が映されるなど、大変充実した内容でした。最後に石田副社長の発声による三本締めがあり創立55周年記念式典は5時に無事お開きとなりました



—レジャー例会・写真クラブ合同例会—

平成20年6月12日(木) 9:30心配された天候も予想外に好転し、「伏見例会」の参加者10名が京阪中書島駅北口に集合しました。

今回は、カメラ・ビデオクラブの企画で、16世紀末、豊臣秀吉の作った城下町、大阪と京都との水運の要衝そして酒造りの町等で名をなす伏見



エリアを巡りました。

まず、一番中書島駅に近くで伏見の天神さんと呼ばれる「長建寺」を拝観、一風変わった中国風の楼門をくぐると、境内は紫陽花が美しく咲いていました。本日は、11:00に十石船に乗る予約なので、上船前に「月桂冠大倉記念館」を見学しました。伏見の酒造りに使われた6千点にも及ぶ酒造用具のうち代表的なものを酒造りの工程に従って展示されていました。これらは「京都市指定・有形民俗文化財」にも指定されています。昔の木製機械に感心しながら見学、最後に酒の試飲もあり一行大いに気を良くしました。

丁度上船時刻になり、同館近くから十石船に乗りました。蒸し暑い日でしたが、舟が水面の風を受けて大変快い気分になることができました。20分程で目的の三栖閘門に到着、展望タワーから淀川や伏見町を

望む者、資料館で閘門の歴史を学ぶ者等、歴史に思いを深めました。

往復約一時間のコースを堪能すると、快い空腹感を覚え、お楽しみの昼食時間は、月桂冠の敷地内にある酒と和食の「月の蔵人」に入り、予約席でゆったりと食事に舌鼓を打ち、お酒の勢いもありおしゃべりに花が咲き、まさにミニ宴会の様でした。

食後「黄ざくらのかっぱ天国」の見学と買い物をしたあと、坂本龍馬の「寺田屋」に行きました。かつて寺田屋は寺田屋浜という三十石船の船着場を持つ大きな船宿でした。また維新史上有名な「寺田屋事件」の舞台となったことで有名なことをご存知のとおりです。

一行は寺田屋の展示や刀きず等を見学したあと、維新に想いを寄せながら、記念写真を撮り同宿を後にしました。

当日は、天気が良くなり過ぎて、本来曇りのはずが太陽まで顔を出すという暑い日となり、見学先を一部割愛して、帰りコースの大手筋商店街をとおり、「願光庵」の風変わった門を見学後、ゆっくりとした坂道を上がり最終目的地の「御香宮」をお参りしました。

同宮は、この境内から「香」の良い水が湧き出た



ので、清和天皇よりその奇端によって、『御香宮』の名を賜ったものといわれています。伏見鳥羽の戦には伏見奉行所に幕軍が據り、当社は官軍(薩摩藩)の屯所となりました。十月の神幸祭は、古来『伏見祭』として、今も洛南随一の大祭となっています。

また「石井の御香水」として、伏見の七名水の一つで、昭和六十年一月、環境庁(現、環境省)よ

り京の名水の代表として『名水百選』に認定されています。美味しい御香水でのどを潤し、さわやかな境内で本日のお開きと致しました。

(川越 幹)

・参加者(敬称略) 浅島芳雄、池田俊明、川越幹、下川博司、田中光子、西尾勝治、萩原孝一、東信好、矢野久雄、吉井忠彦

行事案内

堀場OB会夏季懇親会のご案内

恒例の「堀場OB会夏季懇親会」のご案内はがき(出欠)をお送りしていますが、多数ご参加いただくよう期待しています。

参加・不参加にかかわらず別送の出欠連絡はがきにて回答いただきますようお願い致します。

- ・開催日時：平成20年8月2日(土) 午後6時～
- ・開催場所：がんこ高瀬川二条苑 木屋町二条下がる東側(島津創業記念館前)
- ・会費 : 5,000円(超過分はOB会で負担)

会員情報

新入会員紹介

(敬称略)

1201	宮本 美津子	1205	酒井 俊英	1209	寺町 克彦
1202	永田 真寿夫	1206	村田 敏幸	1210	山田 毅
1203	浜井 幹彦	1207	船越 健	1211	國房 俊彦
1204	野口 進治	1208	中村 十規人	1212	大道寺 英弘

新入会員懇談会

—第12期 新入OB会員懇談会—

新入OB会員との懇談会が平成20年1月18日(金)正午からOB会室にて開催されました。

参加者は、酒井俊英、澤田喜行、永田真寿夫、野口進治、八木大三の各氏5人でOB会からは川越幹、小谷昌男、山本広太郎の幹事3人が出席しました。

昼食を摂りながらの気軽な雰囲気の中で、OB会の現状を説明、参加者からは質問、提案等もあり、大変有意義な懇談会になりました。今後も新規入会者に対して懇談会を開催して行く予定です。



連絡事項

年次総会のあり方についてのご意見・ご提案を募集

いつもOB会の諸活動にご協力頂き有難うございます。

さて、首題の件、堀場製作所OB会も1996年に設立以来、早くも12年が経過致しました。年次総会の運営も諸先輩の工夫と努力と会社の絶大なるご支援で今まで大過なく継続されて来ました。

しかし設立時から今までは、どちらかという、一方通行でやや形式的な運営であることも否定できないと存じます。

一例として、3期ほど前から皆さんの作品展示会を加えましたが、ちょっとした工夫で、総会のイメージもぐっと親しいものになったとも感じています。

つきましては、この10月に開催致します年次総会のあり方、運営方法、小さな工夫等々皆様から自由なご意見・ご対案を頂いて、皆様自身の総会にして行きたいと思っておりますので、メールその他どんな方法でも結構ですので、下記まで多数お寄せ下さい。是非ともよろしくお願い致します。

代表幹事 川越 幹

・連絡先

〒618-0071京都市乙訓郡大山崎町堀尻6-1-309

川越 幹

Tel&Fax : 075-958-2475

電子メール : kan1221@theia.ocn.ne.jp

行事等のご案内に対する100%回答ご協力をお願い

堀場製作所OB会の皆様、日頃は、OB会の各種行事に積極的にご参加頂き有難うございます。

おかげさまで、今まで曲がりなりにも各種行事を継続できましたのも、皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

昨今退職者の増大とともにOB会への入会者もますます増えつつあり、行事の規模も種類も大きく、また変化してまいります。しかし個々の会員の皆様とは、規模の拡大とは関係なく1 : 1のコミュニケーションです。

今まで幹事会では、各種行事等のご連絡、ご案内を皆様にお送りし、意思疎通を図ってまいりましたが、残念ながら100%のご回答が得られてい

ないのが現状です。

各ご事情があると存じますので、当該の行事等への参加、不参加は勿論自由ですが、回答をお願いしているものには必ずご返事を頂くようお願い致します。

つまり、全130人の会員から130通 100%のレスポンスが必要なのです。これは各会員のご消息等にも関係する大変重要な情報交換であり、ご回答が無い場合、幹事会としては大変困却します。

以上お手数をおかけしますが、是非ともよろしくご協力頂く様お願い致します。

代表幹事 川越 幹

堀場製作所OB会ホームページについて

堀場OB会のホームページではクラブ活動をはじめ各種の行事案内、報告を掲載しています。

行事予定コーナーでは、OB会室にて開催される会合の日程を掲載していますので堀場製作所にお越しの時は是非お立寄り下さい。

◆ホームページアドレス

<http://www.h5.dion.ne.jp/~ob-hor/>

会員の皆様にお届けする会報はモノクロ版ですが

ホームページにはカラー版の会報を掲載していますのでご覧ください。

ホームページ掲載の会報は個人情報保護のためパスワードを設定しています。「会報ボタン」をクリックするとパスワード入力画面が表示されますので、下記のパスワードを入力していただくと会報の画面に変わります。

◆会報閲覧パスワード [horibaob](#)

ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

☆2008年 環境サミットの年のホリバの重点活動

・環境フェアin 神戸

5月23日（金）～26日（月）神戸市中央体育館

・環境総合展2008

6月19日（木）～21日（土）（札幌ドーム）

神戸では、近隣の小学校からの見学コースも組まれており、親子連れを対象とした「5秒でわかる展示」をコンセプトに環境体験教室を開校。

環境総合展のブースでは、環境イラストを半立体のパネルにして、触れて楽しめ学べてかつ、アイキャッチとなるオブジェを展示する予定です。

☆南極地域観測隊報告

青山朋樹さん（科学システム製品開発部）

昨年11月末に第49回南極地域観測隊の一員として南極に滞在の青山さんからのレポートがきています。砕氷船「しらせ」は、船底がお椀型で、大変揺れやく大変だった。今年は氷が厚く、砕氷を1200回近く繰り返した。基地まわりの作業は、12月中旬～2月中旬に限られ、計画通りには行かなく四苦八苦した。同氏の担当作業は、燃料タンクと観測小屋の基礎工事で、気温が-2度と思ったより暑く半袖で作業をした。また、5月現在での基地内の生活は大変快適だ等々奮闘ぶりが報告されてきました。

☆宇治市の教養講座「科学のとびら」をJoy & Fun Clubの皆さんが実施

2月20日、27日、宇治市生涯学習センター主催にて一般市民向けの教養講座「科学のとびら～おもしろおかしくはかってみよう」に協力されてきました。

堀場の分析計ME S A・T w i n p H計を使用しての実演は、「安全な生活を支えることの大切さ実感した」等の声が得られたそうです。

☆林勇氣さん（法務部）

北京オリンピック出場内定（10大ニュースより）

2008年北京オリンピックのアーチェリー部門への出場が内定、世界の祭典にホリバリアンが登場するという快挙、ダントツのニュースとなっています。

☆ドライブレコーダー「どら猫3」がラインナップに追加されました。

お馴染みの「どら猫2」にカメラ調整機能が追加され、ますます使いやすくなったということです。（OB会員でマイカーを運転されている方、事故の削減と安全運転のため、取り付けられてはいかがでしょうか。）

（Joy & Fanより）

編集後記

早いもので、2008年も半年が過ぎ、この会報の発行が終わると、直ちに年次総会の準備活動がスタートします。この会報でもお願いしていますが、今秋10月の年次総会は、皆さんのアイデアを集めて是非とも新しい形での年次総会にしようかと検討しています。是非とも新鮮なアイデアをお寄せ下さい。

今期は「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」も発足し、OB会の重点としているクラブ活

動に加えボランティア活動の一端を今号で報告していますが、まだまだ活動自体が十分では無いため、記事も少し寂しい状態です。編集者が困るほどの活動を期待いたしています。

現在OB会員も130人になり、OB会活動以外にも皆様個々の分野での話題もよりバラエティー豊かなものがあると思います。どんどん投稿して頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

*
* **堀場製作所OB会** *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://www.h5.dion.ne.jp/~ob-hor> *
* E-mail hor60-obkai@k2.dion.ne.jp *
